

# 会議結果報告書

平成30年3月22日

会議の名称	平成29年度ジョブスポットしき運営協議会
開催日時	平成30年3月22日（木）14時から14時45分まで
開催場所	市役所3階ミーティングルーム
出席者	ジョブスポットしき運営協議会員： 志木市長 香川 武文（協議会会長） 埼玉連合 朝霞・東入間地域協議会事務局次長 田中 信行 氏 朝霞地区雇用対策協議会会長 野島 安広 氏 朝霞公共職業安定所長 小室 幸士 氏 志木市市民生活部長 高橋 良和  (計5名)  事務局： 埼玉労働局職業安定課地方職業指導官 茂木 悦子 氏 朝霞公共職業安定所統括職業指導官 小林 克則 氏 朝霞公共職業安定所統括職業指導官 益川 昭寿 氏 志木市健康福祉部福祉課長 山崎 仁 志木市市民生活部参事兼産業観光課長 醍醐 一正 志木市市民生活部産業観光課主事 小林 尚美  (計6名)
欠席者	なし
議題	(1) 平成29年度事業報告について (2) 平成30年度事業計画（案）について (3) その他

## 会 議 録

1. 開 会（進行：産業観光課長 小林）
2. 会長挨拶（協議会長 香川氏）
3. 協議員・事務局自己紹介（進行：産業観光課長 小林）
4. 議題（進行：協議会長 香川氏）
  - (1) 平成29年度事業報告について
    - ・取組状況について（志木市健康福祉部福祉課長 山崎）  
※資料1参照
    - ・シニア世代対象就職面接会について（志木市市民生活部参事兼産業観光課長 醍醐） ※別紙参照
  - 【質疑応答・要望】
    - ・面接会に参加した求職者の最高齢は、男性77歳、女性78歳であった。働きたいと考える元気なシニアが多いこと、また中小企業の人手不足を感じたところである。ハローワークとしても、市と連携し、こうした面接会を来年度以降引き続き実施したい。（協議員 小室氏）
    - ・昭和の時代から雇用情勢は変わり、平均寿命も延びて、今は人生100歳時代である。市としても、シニアの雇用について積極的に取り組んでいきたい。（協議会長 香川氏）
    - ・面接会については、企業側の反応も非常に良く、締め切りを過ぎてから参加希望する事業所もあった。多くの新聞に取り上げてもらい、周知の結果が表れている。雇用対策協議会においてヒアリングを実施した結果、今後は面接会に照準を合わせ募集をしていくといった事業所もあった。（協議員 野島氏）
    - ・参加事業所数は25社であるが、実際にはその倍程度の参加希望があった。会場の広さもありお断りした状況。（協議員 小室氏）
    - ・今後はより広い会場で実施することも検討したい。（協議会長 香川氏）

- (2) 平成30年度事業計画（案）について

(朝霞公共職業安定所統括職業指導官 小林 氏)

※資料2-1 資料2-2参照

- ・平成30年度の目標については、資料2-2のとおりである。
- ・県内の雇用情勢については、有効求人倍率も1.52倍となり、改善が進んでいる状況。ただし、志木市が含まれる県南西部地域は、中小企業が多く、人手不足が進んでいる。
- ・厚生労働省からの通達により、今後、ジョブスポットにおいては「相談件数」に重きを置くこととされている。相談件数については、職業相談員1人当たり1日5.2件の相談が全国平均であり、ジョブスポットしきの現状は4.02件ある。1人1件ずつ相談件数を増やし、全国平均に届くよう目標設定をした。
- ・来年度の新規事業としては、障がいをお持ちの方を雇用する事業主を対象とした「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」の開催、また今年度に引き続きシニア世代対象就職面接会の開催を予定している。

#### 【質疑応答・要望】

- ・一般職業紹介の目標数値だが、今年度2月末現在で4,502件であるのに対し、来年度の目標が6,240件となっている。さきほどの説明では、全国平均の5.2件から算出した数値とのことだが、実績と目標に開きがあるが問題ないのか。(協議会長 香川氏)
- ・「プラスワン紹介」という言葉がある。一人の方に一件ずつプラスして仕事を紹介していきましょう、という意味だが、紹介する求人を一件増やすことで、求職者が職に就ける可能性も上がる。これを毎日続けていけば、おのずとジョブスポットの利用価値も上がり、評判が口コミで広がりより多くの方に施設をご利用いただければ、不可能な数値ではないと考える。(協議員 小室氏)
- ・厚生労働省の指針に基づき就職件数の目標をなくしているが、これはどう考えるのか。(協議会長 香川氏)
- ・ハローワークの就職件数は、景気の安定もあり、低下している。しかし、景気の良し悪しに関わらずハローワーク及びジョブスポットの利用価値を上げていき、より多くの方に利用いただければ就職件数も上がっていくという考えである。(協議員 小室氏)
- ・朝霞管内の事業所に対しても、無料職業相談所であるハローワークを

積極的に利用するよう、雇用対策協議会としても呼びかけていく。(協議員 野島氏)

- ・ハローワークの利用価値を、企業の皆さんにも理解してもらえよう、積極的に周知をしていく。(協議員 小室氏)
- ・さきほど説明があった、「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」だが、障がい者の法定雇用率が上がる中、多くの事業所に参加してもらい、障がい者の雇用について意識を高めてもらいたい。志木市役所においても、是非人事課に参加してもらいたい。(協議員 小室氏)
- ・中小企業の人手不足に伴い、人間からロボットに担い手が替わっていくという話もある。A I の活用もある中、雇用情勢はどうなるのか。(協議員 香川氏)
- ・日本の人口が今後減少していく中で、対応策としてA I の活用が取り上げられている。ただし、A I を作り出していくのは人間である。また、建設業や警備における人手不足は、2020年東京オリンピックにより多少軽減されるのではと考える。(協議員 小室氏)

#### 《平成30年度事業計画について、異議なしのため、承認》

#### 5. その他

- ・ジョブスポットしきについては、PRビデオの作成をし、UPしていくことで積極的に周知を図っていく。(醍醐)
- ・東京電力パワーグリッド株式会社主催の「福島県の特産品販売会ふくしま物産マルシェ」について、ご案内。(協議員 田中氏)
- ・管内の事業所から、新規学卒者の若者の雇用について、要望がある。地元で育った若者が、地元で就職できるよう、市と協力してPRキャンペーンなどを行いたい。(協議員 野島氏)

#### 6. 閉 会